

「連携について」 オンライン講義資料

やまだリハビリテーション研究所

作業療法士 山田 剛

1. 連携についての基本的な考え方のごと

「あなたの役割と業務範囲を把握しよう」

- 連携の基本は業務把握と組織図の理解
 - 仕事がかうまくいっても越権行為は嫌われる
 - あなたのポジションと上司の把握
- チームの構成によってスタッフ間の連携の仕方は違ひます
- 常勤と非常勤それぞれの業務の内容の違ひ
 - 加算、人員基準としての専門職としての業務としての役割

2. なんで連携？

「大事ことなら何でも『連携が重要』って言われるの？」

- 重要だけど浸透しない連携
- 「連携する側とされる側の違ひ」と「ギブ&テイク」のごと
- 連携により発生する利益は対象者さんに還元される

3. 連携において重要なこと

- 連携することにメリットがあること
- 連携する相手の情報があること
- 共通の目的があること
- 共通言語で話していますか
- 相手を察すること

4. 分業、効率も大事だけど一番の目的は安心のため。不安の分散と責任の共有

- 不安の分散
- 責任の共有

https://note.com/yamada_ot/n/n8e45a355c5b3

5. 仲良くすることが連携ではありません

- もっとも大切なことは情報を共有すること

https://note.com/yamada_ot/n/na754bc18f442

6. 連携のコツ

- 専門職は自分の役割や効果を相手に伝えることが連携の第一歩
 - 胡散臭いものは信用も信頼もされません
 - 他職種に見てもらったことがありますか
 - 『見せる』ではなく「魅せる」ですよ
- わからないことは聞く、聞かれたことに対しては答える
 - はじめての職場ではたくさん聞かれる
 - こちらから説明する姿勢
 - 必要な専門用語と不必要な専門用語を使い分ける
LD、ADHD、股関節、膝関節
トンビすわり、W—sitting、お姉さん座り
認知が進む？
お互い学び合うべき用語と、共通点を見つける用語
- 垣根を下げる努力は必要だけど、専門性を発揮することも必要
 - 専門職だからできること、専門職しかできないこと
 - お互い協力すべきこと
- 介護職とリハスタッフの連携のコツ
 - 「業務内容の違いをはっきりと理解する」
 - 本人の能力を引き出して手伝わないのがリハビリ
 - 介助することがヘルパーさん、介助しなかったら利用者さんから怒られることもある。
- 個を対象する職種と集団を対象にする職種